



ぶらり相生第 26 号

平成 30 年 6 月

「農村舞台って知っていますか？」

6 月 15・16 日の第 41 回相高祭には、多くの方々にご来校いただきありがとうございました。生徒たちにとって、大きな励みとなりました。この場を借りまして、お礼申し上げます。

さて、相生市矢野町二木ふたつきに二木八幡宮神社舞台があります。右の写真がそれです。それに関連して、平成 13 年度から 15 年度の 3 カ年事業として文化庁委託事業



「ふるさと文化再興事業」があり、兵庫県下の農村舞台の現状確認調査を市郡町教育委員会の協力のもと実施しました。筆者も一部ですが、調査に参加させていただきました。

兵庫県は、広い範囲で多くの農村歌舞伎舞台があり、過去における地芝居の盛況ぶりは顕著な特色といえます。神戸市北区山田町の下谷上の舞台や南光町上三河の上三河の舞台など国指定有形民俗文化財に指定されている貴重な文化財があり、現在、農村舞台を地域づくりの核として見直し、その活用をはかる取組が始められています。

相生市の農村歌舞伎舞台は、矢野町の森地区をはじめ、菅谷すがたに、小河おうご、真広まひろの各地区に分布しています。過去に回り舞台が存在してしたことが確認されており、芝居専用舞台、転用舞台が多いという特徴があります。

二木村は、真広村の北西、矢野川支流の二木川流域の平地及び丘陵に立地しました。小犬丸こいぬまるから高田へ抜ける古山陽道が通り二木宿が置かれました。その環境の下、歌舞伎やにわか芝居等の芸能が育まれました。